

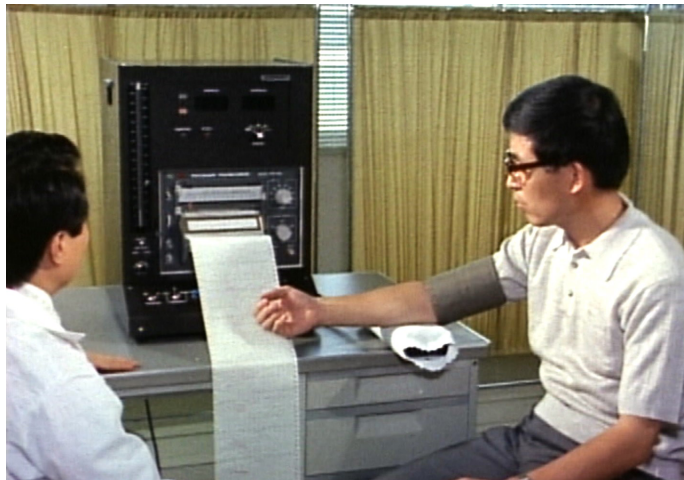
成人病の予防

高血圧症を中心に

1974
作品ナンバー0129

文部省選定 厚生省推薦

桜映画社の成人病シリーズも、スポーツシリーズと共に10年間、ほぼ年に1本ずつ自主製作した。両シリーズともに実用的な社会教育映画で、その背景には日本経済の高度成長期を経て生活が豊かになった時代の推移がうかがえる。



大阪府八尾市では、40歳以上の男女全員に集団健診を行ない、高血圧患者には保健婦が家庭訪問をして生活管理にあたっている。高血圧は自覚症状がないだけに軽くみられやすいが、本人がその恐ろしさを自覚しなければ予防することはできない。血圧は成人で最大160ミリ以上、最小95ミリ以上は要注意である。高血圧が原因で、動脈硬化、脳卒中、心臓病、腎臓病などを引き起こすことがある。また、脳出血や、動脈硬化が進むと脳軟化症の原因となる。

わが国の脳卒中の発生率は、欧米に比較して高く中年層にまで下ってきているのはなぜか。その原因の一つに食生活での塩分の摂りすぎがある。八尾市では栄養教室を開いて食生活の改善に努めている。もう一つはストレスで、都市農村とも変わらない。ではどんな時に血圧が上がるかというと、一つは運動である。歩道橋を駆け上がっただけで40ミリも上がる。寒さも血圧を上げる。冷水に手足を入れてだけで20ミリ上がるので、この繰り返しは高血圧症を招く。東北の農村に多いのは、長期の寒冷、塩分の摂りすぎなど生活環境からくる要因が考えられる。しかし、生活環境条件のよい都会でも高血圧症が多いのは、また別のタイプがあることを示している。ある会社重役はストレスが溜まり、コレステロールの濃度が高く、運動不足で肥りすぎ、動脈硬化症、狭心症寸前で医師の指示通りの生活管理に懸命である。中年になったら、血圧管理、健康診断、日常の生活管理に心がけ、自身や家族のために健康の維持に努めたい。

記録
16ミリ
カラー／28分

- 自主企画
- 協賛
日本チバガイギー株式会社
- 監修
群馬大学教授
鳴谷亮一
大阪府立成人病センター
小町喜男
- 協力
大阪府八尾市
秋田県井川町
由利組合総合病院
保健同人事業団

スタッフ

- 製作
村山英治
福岡順子
- 脚本・演出
田中 徹
- 撮影
堀 澄男
- 照明
本橋俊男
- 解説
水島 弘